

# 事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	事業名	部名	環境産業部
	04029-1	廃棄物収集事業	室名	廃棄物対策室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財 会計	一般会計
	基本施策	03:循環型社会の形成・エコシティの実現	務 款	衛生費
	施策の方向	04:ごみの適正処理の推進	科 項	清掃費
戦略プロジェクト		目 目	塵芥処理費	

② 目的・概要	対象	市民
	【目的】	市域から発生する家庭ごみ分別収集や自治会が管理する塵芥集積施設の設置等にかかる補助金を交付することで、ごみの適正処理と資源物の回収を行うとともに、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。
	【概要】	家庭ごみの分別収集・運搬(一般ごみ、破碎粗大ごみ、可燃系及び不燃系資源ごみ、ペットボトル・白色トレイ)と周知・啓発 高齢者等世帯の粗大ごみ軒先収集 塵芥集積施設の設置費等にかかる補助金の交付

			24 年度	25 年度	26 年度		
③ 指標	① 活動	名称	家庭ごみの収集	計画値			
		補足	家庭ごみ収集業務の実施 高齢者等世帯粗大ごみ軒先収集業務の実施	実績値	360	444	436
				単位	日	日	日
	② 活動	名称	補助金の交付	計画値			
		補足	塵芥集積施設設置費等補助金の交付	実績値	358	703	248
				単位	千円	千円	千円
① 成果	名称	家庭ごみの収集量	計画値				
	補足	家庭ごみの年間収集量 高齢者等世帯粗大ごみの年間収集量	実績値	11,260	10,623	10,565	
			単位	トン	トン	トン	

年度計画				年度実績			
④ 事業の計画・実績				【家庭ごみの分別収集・運搬】 一般ごみ 205日/年、破碎粗大ごみ 47日/年、 資源ごみ 95日/年、ペットボトル・白色トレイ 47日/年 合計収集量 10,560.08トン			
				【高齢者等世帯粗大ごみの軒先収集】 収集日数・収集件数・収集量 42日/年・42件・5.35トン			
				【塵芥集積施設設置費等補助金の交付】 補助金交付件数 5件(新設4件、改修1件)			
	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	1,036
		事業費		164,246	162,749	一般職員人件費 ②	1,036
		国庫支出金				所要人員 ③	0.14
		県支出金				臨時職員人件費 ④	0
		地方債				受益者負担額 ⑤	0
		その他		39,012	37,922	受益者負担率	0.0% ⑤ / ⑥
	一般財源		125,234	124,827			
再掲	翌年度への繰越額		0				
	前年度からの繰越額		0				
	総人件費		①	1,036			
	総コスト		⑥	163,785			

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	市域から排出された家庭ごみを迅速に収集し、生活環境に支障を及ぼすことがないよう安全かつ迅速に運搬した。塵芥集積施設設置費等補助金の交付においては、全ての申請に対して速やかに補助金を交付することで、生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与することができた。また、高齢者等世帯の粗大ごみ軒先収集においても、申込案件の全てに対して、健康福祉部、委託業者(シルバー人材センター)と連携し、迅速に収集することで、廃棄物の適正処理と高齢者等世帯の在宅支援に寄与することができた。	総合判定
			<b>B</b> まずまず進んだ

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	毎年度当初に野積み集積所を管理する自治会に対して、ごみ飛散防止用ネットの貸し出し案内を行うとともに、折りたたみ式集積施設を活用した施設整備の働きかけをし、公衆衛生の向上に努めているが、新たに施設が整備されたことで解消された野積み集積所は1ヶ所に留まった。
	【改善の方向性】	野積み集積所は、施設設置の敷地確保が困難なことがその要因で公道の路肩等に集積していることが多いことから、道路管理者と協議の上、状況に応じた改善策を検討し、関係自治会に引き続き施設整備の働きかけを行う。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 廃棄物対策室長 谷口 広幸
--------------	---------	------------------------